

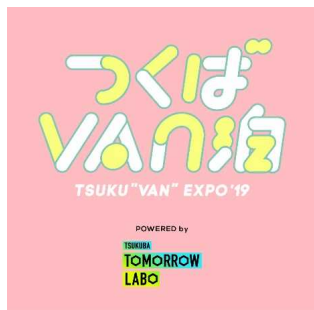
世界の
あしたが見えるまち。
TSUKUBA

つくば市記者会 御中

発信日：平成30年11月29日（木）

発信元：つくば市市長公室広報戦略課

■取材依頼 ■周知依頼 ■募集告知 □その他



世界のあしたが見える「まちの実験室」

つくば トウモロラボ
「Tsukuba Tomorrow Labo」

つくばバンパク
「つくばVAN泊」開催決定! 説明会のご案内

「つくば市長 × バンライファー」のスペシャルトークセッションも開催!

社会実装のまち、つくば市のシティプロモーションの新プロジェクトは「まちの実験室」。
その第1弾は、新しい暮らし方の提案「バンライフ」に着目した「バンパク」の開催。
つくば市初のふるさと納税型クラウドファンディングも「つくばVAN泊」で実施予定。

茨城県つくば市（市長：五十嵐立青）は、将来的な移住交流促進や関係人口の創出を目的としたシティプロモーションとして、世界のあしたが見える「まちの実験室」『Tsukuba Tomorrow Labo』（つくばトウモロラボ）をスタートします。その第1弾の取り組みとして、つくばならではの新たな関係人口の創出に向けて、場所に捉われない働き方や暮らし方をバンタイプの自動車を中心に実践する「バンライフ」のコンセプトを切り口とした、「つくばVAN泊2019」（つくばばんぱく）を2019年3月21日（木・祝）～22日（金）の2日間、開催することを決定しました。説明会を、12月5日（水）に都内で開催します。

また、つくば市として初めて「ふるさと納税型クラウドファンディング」を「つくばVAN泊2019」のプロジェクトで実施する予定です。その周知も兼ねて、五十嵐つくば市長と国内で注目される5人の「バンライファー」や（株）マクアケの取締役、坊垣加奈氏とのトークセッションも開催します。

「つくばVAN泊」開催決定説明会 スケジュール

11:00 開始（開場受付開始 10:30～）

- ・ あいさつ（五十嵐つくば市長）
- ・ 「つくばTomorrow Labo」のスタートについて
- ・ 「つくばVAN泊2019」の開催について

11:20～つくば市長×バンライファートークセッション

今なぜ「バンライフ」？バンライフから見た、
これからのまち、ひと、しごと、と「つくば」
※バンライファーのフォトセッションも実施。

12:00～クラウドファンディング型ふるさと納税の実施について

- ・ 「つくば市長×マクアケ」トークセッション

12:30 終了

【バンライフトークセッション登壇者】※変更する場合があります。

- 渡鳥ジョニー氏（VLDK）
- 成瀬勇輝氏（ON THE TRIP）
- 青木大和氏（BUS HOUSE）
- 貞末真吾氏（動くスナック Apollo）
- 中村恵久氏（移動型農耕民）
- 前田瑠介氏（WOTA）

日時：12月5日（水）11:00～12:30（開場10:30）

場所：株式会社ポニーキャニオン本社

1階イベントスペース（港区虎ノ門2-5-10）

会場は、一般向けとメディア・記者向けの席を用意しております。参加を希望されるメディアの方は、別紙をFAXもしくはメール等でご連絡ください。

●もう家を建てる時代じゃない？話題の「バンライフ」をつくばに集結。

Instagram上で約400万件ものタグがついている注目のキーワード「#VANLIFE（バンライフ）」。これは、レジャーやファッション性といった要素にとどまらず、モバイルネットワークの発展や生活に必要な機能の大半がシェアで賄える社会に変わってきたことによって、場所に捉われない「働き方」や「暮らし方」ができるようになってきたことを現わしている、社会的な現象ともいえます。

「Tsukuba Tomorrow Labo」では、この一見「定住」とは真逆の現象ともいえる「バンライフ」に、高齢化社会や限界集落、大規模災害時の都市部の住まいや通勤の問題、インバウンド対応、国の「SDGs未来都市」に選ばれているつくば市としてSDGsの達成など、課題解決のヒントが秘められていると捉えています。

「つくばVAN泊」は、「バンライフ」を充実して送れるまちは、こうした課題を解決できているまちであり、多くの人が行き交う、観光やつくば市が戦略的に取り組むスタートアップ育成なども盛んなまちかもしれないという発想が原点となっています。そこで先駆的に挑戦している「バンライフアー」を集め、彼らが日本各地での「バンライフ」で実際に体験し、感じている課題を、つくば市という行政、研究・学術機関や市内外の企業や人材との交流・意見交換を通じて、「モビリティのある暮らし」をまち・ひと・しごとの観点からどのように実現していくかを議論していきます。

実際に車中泊をバンライフアーとともに体験するモニターツアー「VAN泊」、アウトドアでのコワーキングスペース体験などの企画も、ふるさと納税型クラウドファンディングの返礼として準備を進めています。

参加するバンライフアー（12月5日のトークイベント登壇予定者）

渡鳥ジョニー氏（VLDC）



メルセデス＝ベンツのバンを改装して、永田町の駐車場を住所におく都市型バンライフに挑戦中。

貞末真吾氏（動くスナック Apollo）



昭和45年式のレトロなバスを「アポロ号」と名付け、同名の移動型スナック「Apollo」として各地をキャラバン中。

青木 大和氏（BUS HOUSE）



渋谷に拠点を置き、バスを改造するBUSHOUSE、その現在2台目を製作中。台湾でも展示した。

成瀬 勇輝氏（ON THE TRIP）



バンをON THE TRIPのオフィス、家、コミュニティとして活用。バンライフを現代版の鴨長明「方丈記」的暮らしと捉え「住む・働く」の実験中。

中村恵久氏（移動型農耕民）



移動型農耕民族を画策中。オンライン農学校The CAMPusの働きからスタートし、渡鳥ジョニーと共に活動する中でバンライフに出会い、免許を取る過程からバンの入手までをレポート。

前田 瑤介氏（WOTA）



持ち運べる水インフラ「WOTA BOX」を開発。「だれでもどこでも水の自由を」をミッションに、モビリティのための水インフラも開発予定。

参加を希望される方は、メディア用の席を別途ご用意しますので、**12月3日（月）18時までに以下の内容を、つくば市広報戦略課メールアドレス pln032@city.tsukuba.lg.jp もしくは FAX番号 029-868-7628 までお送りください。**
 （当日参加は自由ですが一般向けの座席となる場合があります）

ご出席

ご欠席

御社・媒体名 _____ いずれかに○をおつけください。

担当者名 _____

来場者数 _____ 名（うち 撮影者 _____ 名）

メールアドレス _____

（大容量データの受信可能なアドレスをご記入お願いいたします。）

電話番号 _____

FAX: _____

ご来場をお待ちしております。何卒、よろしくお願いたします。